2021年７月吉日

**赤字修正**

　各位

日本将棋連盟山形県支部連合会

 　　　　 　 　　　　　　　　　　　 会長　大　泉　義　美

**第1回支部対抗戦北海道・東北ブロック大会開催要項**

1. 開催日時　令和３年１２月４日（土）1日制にて実施します。

　　　　　　　9：00－17：00予定

1. 場所　　　天童市「ほほえみの宿滝の湯」

　　 山形県天童市鎌田本町1-1-30

　　 023-654-2211

　　 <https://www.takinoyu.com/>

1. 参加予定　北海道1・東北各県県代表6・天童支部2（200名支部 ＝合計9チーム

　　　　　　 ゲスト１チーム（天童教室・順位には入らない）追加 ＝10チーム

1. スケジュール

　　　スイス式5回戦・25分の30秒＝80分予定（1局）

　　　8：40　　　　　選手集合・受付

9：00　 　　 開会式

　　　　　　　　　　 主催者あいさつ

　　　　　　　　　　 来賓あいさつ

　　　　　　　　　 競技規定説明

　　　9：20-10：40 　1回戦

　　 10：40-12：00 　2回戦

　　 12：00-12：30 　昼食（選手の弁当用意します）

　　 12：30-13：50 　3回戦

　　 13：50-15：10　 4回戦

　　 15：10-16：30　 5回戦

　　 16：30-17：00　 表彰・閉会式・解散

1. 対戦方法

　　　スイス式5回戦・1回戦のみ決定しておきます。その後は別途組みあわせ。

　　　その他組合せ方法・競技マナー等は別ページと別紙参照してください。

6.　　優勝チームに四段免状授与、上位3位まで賞状・賞杯・副賞あり

　　　4位以下のチームで個人全勝賞あり。個人戦順位の賞品はなし。

1. コロナ対策・対局中はマスク着用・対局前後手消毒・感想戦は短く。
2. 一般観戦は制限しません。

8.　　その他不明の点は問い合わせてください。

花輪正明まで　hanawa@excellent-inc.com　090-1934-1673

**対抗戦　スイス方式　組合せ・順位の決め方**

対戦表は別紙参照

組合せ準備

１． 北より番号を振る

２． 上と下の２グループに分ける

組合せ

１回戦　上と下グループ番号順、１－６・２－７・３－８・４－９・５－１０

２回戦　１勝同士で上と下グループ番号順・下１勝余りは上位の一番上の１敗

１敗同士

３回戦　２勝同士でグループ番号順・下の２勝余りは上位の一番上の１勝・・同様

４回戦　３勝同士でグループ番号順・下の３勝余りは上位の一番上の２勝・・同様

５回戦　４勝同士と３勝同士・以下上記と同様

同じ相手とは対戦しない。（優先）

相手によっては、同星でない組合せあり。

順位決定

１． 勝ち数

２． 個人の勝ち点合計

３． 大将勝ち数

４． 副将勝ち数

５． 直接対戦

６． 初戦より連勝チーム優先

７． 抽選

＊不戦勝は、１勝３点

競技規定等

1. スケジュール対局時間割は一応の目安です。開始が早まる場合もあります。
2. 進行管理の都合から、勝利者チームは直ちに対局結果を事務局に報告してください。

3.　次の対局がある方で会場を離れる時には、事務局までお知らせください。

4.　局後の感想戦等は、次の対局に妨げにならないように配慮願います。

5.　駒・盤・時計などの棋具は丁寧に扱ってください。

6.　対局が終了し席を離れるときは、駒を開始状態に並べて下さい。

7.　持ち時間は、２５分の３０秒。

8.　千日手の時は、直ちに、先・後手を交替して指し直してください。

 持ち時間は残り時間とします。時計の位置は同じとします。

9.　持将棋は「２７点法」により、同点の場合は後手の勝ちとします。

【参考資料】の「入玉宣言法」により「宣言」することができます。

対局者の合意・審判が裁定する場合もあります。

10. 日本将棋連盟のガイドブックに記載されている反則は、即負けとします。

指摘は対局者・審判・事務局・観戦者だれでもかまいません。

ガイドブックに記載されていない疑義（時計の押し間違い・手を離した離さない等）

は即負けとはしませんが、２度目以降は反則とする場合があります。

11. 対局時計は対局者同士で管理してください。置く位置は、後手番の人が決めます。

対局時計のボタンは、駒を動かした手で押すこと。

12. 先後は大将の記録係が振り駒で決定します。副将・先鋒は交互の先後となります。

　　振り駒用の歩5枚を別途用意します。対戦表番号が若い方を上位とします。

　　先後の席は決まっています。選手はそれから対局席に座ってください。

13. 駒を落とした等のトラブル時は、選手が時計を中断することを宣言できます。

14. マナーについて、山形県連規定を採用します。

【参考資料】　　　　　　　『入玉将棋の宣言法』

『宣言方法』

　宣言しようとする側の手番で手を指さずに「宣言します」と言い、時計を止めて対局を停止させ（秒読み中は、時間切れ前に宣言し対局を停止する）、その時の局面が、次の条件をすべて満たしていれば、宣言した側が勝ちになる。

＜条件１＞　宣言側の玉が、敵陣三段目以内に入っている

＜条件２＞　宣言側が（大駒５点、小駒１点の計算で）

　　　　　・先手の場合２８点以上の持点がある

　　　　　・後手の場合２７点以上の持点がある

　　　　　　ただし、点数の対象になる玉を除く宣言側の持駒と敵陣三段目以内に存在する宣言側の駒のみである

＜条件３＞　宣言側の敵陣三段目以内の駒は、玉を除いて１０枚以上存在する

＜条件４＞　宣言側の玉に王手が、かかっていない

（詰めろや必死であるということは関係ない）

＜条件５＞　宣言側の持ち時間が残っている（切れ負けの場合）

　　　以上１つでも条件が、そろっていない場合、宣言した方が負けとなる。もちろん、宣言する前に、どちらか片方が投了することは可能である。この規定は、どんな持ち時間でも適用する。

**競技マナーの注意**

2013/6制定・2015/5・2017/5・2018/6・2019/4・2019/5・2020/2改訂

日本将棋連盟山形県支部連合会

将棋は日本が世界に誇る「伝統文化」である。その歴史は５００年に及び、現在に受け継がれている。

選手には、文化への敬意と誇りを持っていただきたい。そして、「礼儀作法も実力のうち」

（鈴木環那女流二段・東北普及部長の師匠、故原田泰夫九段の教え）心に留めて欲しい。

**対局者のマナー**

1. 駒の並べ方。上位者（年上・段級が上）が王将を取る。（並べ方は大橋流・伊藤流が望ましい）
2. 振り駒。上位者が自陣の歩を５枚取り、振り駒を行い、先手後手を決める。歩が多く出たら

上位者が先手。上位者が王、双玉（淇州書）の場合は書体が書いてある方が上位者です。

1. 対局開始。「お願いします」の一礼から始まる。
2. 駒は升目にキッチリと置く。曲がったら途中でも直すこと。
3. 駒台の駒。扇状に並べ、相手にもわかりやすいようにする。
4. 棋具は丁寧に扱うこと。盤駒に傷を付けない、時計は強くたたかないこと。
5. 対局中、席を立つ時、戻った時は「失礼します・失礼しました」と一声発する。
6. 対局中、電子機器（スマホ・タブレット等）は、持ち込み禁止か記録に預けることとする。
7. 対局中の私語・飲食は慎むこと。（飲み物はＯＫ・口に入れる固形物は対局中禁止、

会場外で食べ　　ること）

10. 投了は、「負けました」と一礼とともにハッキリと相手に伝える。

11. 勝者は「ありがとうございました」と一礼を返す。

12．対局終了後のガッツポーズ・バンザイ等の態度は慎むこと。（剣道では「試合で一本とった後、

小さいガッツポーズでも見苦しい行為として取り消しになる」ルールがある）

13．感想戦終了後は、「ありがとうございました」と一礼とともにあいさつを行う。

　　大会時は進行にご協力下さい。勝者は結果を事務局に連絡して下さい。（大会ルールによる）

14. 終了後、席を離れるときは、駒を初形の位置に並べ直す。（または上位者が駒箱にしまう）

15. 席を立つときは、次の対局者への思いやりで、椅子は机の下に入れる。座布団はまっすぐに直すこと。

16．「礼に始まり、礼に終わる」を心得ること。

17. 対局時の服装は、社会的常識の範囲にて。

Ｔシャツ・サンダル履きは不可、襟付きシャツ・靴とします。（県大会）

18. マナー違反（盤外戦術・対局相手に不快を与える行為を含む等）があった場合、記録係は時計を止め、

対局を中断して、審判長に進言できる。

19. 上記マナーに著しく目に余る場合は、審判長・運営者が注意する。

また、協議の上、勝ちを取り消す場合がある。

　　日本の武道精神と同じ。「勝って驕（おご）らず、負けて腐らず」。

そして相手を尊重し合いながら切磋琢磨する。

**観戦者のマナー**

1. 対局席にはあまり近づかない。（１ｍ以上離れること）
2. 対局者の後ろに立って観戦はしないこと。
3. 対局席の横から観戦する。（できれば座って観戦すること）
4. 対局の途中で対局者に声をかけてはならない。
5. 観戦中は私語（ひそひそ話等）をしてはならない。
6. 千日手・持将棋模様の時は、対局者ではなく運営者に知らせることは可とする。
7. 反則の指摘は、大会ルールに従うこと。（誰が指摘しても良い、とのルールがある場合がある）
8. 対局中の差し入れは禁止する。
9. 対局の妨げにならないことを心がけること。

10. 感想戦に口だしはしないこと。

11. 観戦態度があまりにもひどい時は、退場をお願いすることがある。

以上は、山形県支部連合会の運営者が一致した認識のもと、大会運営にあたることを確認する。

一般の大会・大学・高校・中学・小学のいずれの大会でも適用するものとする。